



## ホットニュース Hot News

### ◎雑誌コーナーに広告を掲載しませんか？

雑誌の購入代金相当額を負担することで、企業・商店・団体などのPRができます。

- ▶ 募集期間=2月3日(火)～2月27日(金)
- ▶ 掲載期間=4月～令和9年3月の1年間
- ▶ 広告1枠の規格=

- ①カバー表面(縦7cm×横14cm)、②カバー裏面(A4サイズ未満※雑誌の大きさによる)、③雑誌架(縦15cm×横21cm)



- ▶ 設置場所=各図書館雑誌コーナー
- ▶ 申込方法=申込書に必要書類を添付の上、中央図書館に直接または郵送にて/希望する雑誌は、図書館HPの雑誌リストから選定(リスト外の雑誌については、要相談)

申込書や必要書類など詳しくはこちら▶



▲雑誌コーナー

### オスナの本



#### 『オカルト武将・細川政元』

古野貢/著 朝日新聞出版

室町時代後期、事実上の幕府の最高権力者が、呪いのお経や空を飛ぶ修行に没頭!?どこまでも破天荒な武将の人生とは。



#### 『校正・校閲11の現場』

牟田都子/著 KTC中央出版

校正・校閲といっても、やり方は現場によってさまざま。正確さやスピードを求められる仕事に驚かされます。

## History Inquiry Club 眞の257 歴史探訪クラブ

文化財課(博物館) ☎22-1720  
 吉胡貝塚資料館 ☎22-8060  
 渥美郷土資料館 ☎33-1127



### 新発見!1万3000年前の石槍

たまたま越戸町の伊藤正明さんと縄文時代の話をしていて、「縄文時代のことは知らなくても、矢じり(石鏃)は知っている。中学生の頃、よく拾ったし、今も家に残っている」と聞き、詳しくお話を伺うと、その場所は、すでに知られている若見町の小今口遺跡でした。しかし、資料が散逸し、ほとんど残っていないことから、改めて見せていただくことになりました。

そのとき、伊藤さんが気になることを話されました。「石の色が違う、大きなものがある」と言いながら、親指と人差し指で約7cmほどの大きさを示されました。石鏃にしては大きく、少し大げさではないかとも思いましたが、実物を見て驚きました。それはまぎれもなく、縄文時代の初め(草創期)の獲物を突き刺すための道具、石槍だったのです。



▲小今口遺跡で見つかった石槍(左)

この石槍は、渥美半島で貝塚が盛んだった時代よりも古い、約1万3千年前のものです。縄文時代といっても、村はまだ未発達で、定住も十分ではなく、獲物を追い求める生活が営まれていました。さらに、伊藤さんは作りかけの石槍も見せてくれました。つまり、この場所は石槍を製作していた生活の場だったのです。

小今口遺跡はこれまで、渥美半島の貝塚遺跡と同じ縄文時代晩期の遺跡とされてきましたが、今回の石槍の発見により、県内でも数少ない縄文時代草創期の遺跡であることが明らかになりました。

伊藤さんが大切に保管されていたからこそ、今回の大発見につながったのです。

皆さんのお宅にも、こうした発見が眠っているかもしれません。(学芸員 増山禎之)



▲石槍を使った狩りのようす